

# 北上川バレープロジェクトの推進と令和5年度の取組

## 現状と課題

### ① 北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実

#### 【現状】

<雇用>  
R4.11月の県内の有効求人倍率は1.41倍と、企業の人手不足が継続

<広域連携>  
県央広域振興圏のIT企業と県南広域振興圏のものづくり企業が連携し、生産性向上や付加価値向上の取組を実施

#### 【課題】

- ・大学生や高校生の進学後の県内就職の促進が必要
- ・県内外の理工系人材の県内定着とU・Iターンの促進が必要
- ・労働時間・賃金等の労働条件改善や柔軟で多様な働き方ができる環境整備が必要

### ② 第4次産業革命技術の導入の促進と新たな技術を拓く人材の確保・育成

#### 【現状】

<作業省力化・生産性向上>  
県内ものづくり企業は生産性や付加価値が低位農林水産業や建設業においてICT活用の動きあり

<生活関連サービスの高機能化>  
北いわてMaaS、八幡平市メディテックバレープロジェクト(遠隔診療)等の高機能化に向けた動きあり

#### 【課題】

- ・先端技術を活用した新事業展開や生産性向上の促進に向けた企業支援が必要
- ・高度IT人材を集めにくい地方においては、地域内でのデジタル人材育成・確保が急務

### ③ 多様な主体との連携・協働によるプロジェクト推進体制の構築

#### 【現状】

・エリアの16市町を構成員とする展開研究会において、地域課題の共有や情報交換、先進事例研究等を行い、働きやすく暮らしやすいエリアの実現に向けた市町の取組を促進

#### 【課題】

- ・北上川バレーエリアに「残ってもらう」、「帰ってきてもらう」、「来てもらう」きっかけとなる地域の魅力のPRが必要
- ・展開研究会等を通じ、構成市町との一層の連携強化が必要

## 今後の展開

①

- 1 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保推進
- 2 ものづくり産業人材の育成・確保・定着
- 3 県内企業の働き方改革の推進
- 4 県央・県南の両広域振興圏の産業連携・地域資源等の相互活用による新製品等の創出

②

- 1 生産性や付加価値の向上に資する中小企業のDXを促進
- 2 産業分野におけるDXの促進と産業の高度化
- 3 生活分野におけるDXの促進と普及・啓発
- 4 高度技術人材やAI等のデジタル人材の育成、県内外からの人材の定着促進

③

- 1 構成市町等と連携したSNS活用による積極的な情報発信
- 2 展開研究会を核とした構成市町、アドバイザーボード等との連携・協力の下での取組推進

## 令和5年度の具体的な取組

- バレーエリアに更なる産業集積が進展(キョクシア岩手第2棟竣工やSMC遠野サプライヤーパーク建設等)
- 半導体等の各種協議会や関係機関等との連携による集積産業の裾野の拡大を推進。
- 構成市町や県内企業等と連携したバレーエリアの産業や地域の魅力発信の強化。

①

- **拡** 県内就業促進及びU・Iターンによる人材確保  
〔いわて暮らし応援事業費 166 百万円、いわてターン促進事業費 15 百万円〕  
〔いわて就業促進事業費 133 百万円〕
- ものづくり産業人材の育成・確保・定着  
(北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費 103 百万円)
- **新** 起業・スタートアップ支援(起業・スタートアップ推進事業費 25 百万円)
- U・Iターン者等に対する住宅確保支援(県営住宅活用促進モデル事業費 3 百万円)
- **新** 若者・女性に魅力ある職場づくり支援(魅力ある職場づくり推進事業費 11 百万円)
- 再エネ・省エネ設備の導入支援  
(再生可能エネルギー導入促進事業費 139 百万円)
- **新** (脱炭素化推進事業費 91 百万円)

②

- 中小企業のデジタル化に向けた伴走型支援  
(中小企業デジタル化支援ネットワーク事業費 3 百万円)
- **新** 建設企業等のICT施工や事務管理業務へのDX導入支援  
(建設DX推進事業費補助 15 百万円)
- **新** データ駆動型農業の実証研究や人材育成の推進  
(データ駆動型農業推進事業費 10 百万円[政プロ費])

③

- 県内外の若者等に向けた北上川バレーエリアの情報発信  
(北上川バレープロジェクト推進事業費 2 百万円[政プロ費])

## 1 半導体・自動車関連産業を中心に企業立地・集積が進む

- R元～R3で **70社が新規立地** (うち、半導体関連43社)
- **自動車部品サプライヤー**の電子化・電動化に対応した**高付加価値製品製造**
- キオクシア岩手第2製造棟の建設開始。**世界をリードする半導体製造の拠点化は着実に前進**
- **ヘルステック・イノベーション・ハブ開所**(県工業技術センターR2.4.1)等により医療機器関連産業も進展



## 2 人材の確保・育成が進む

- 高校生の**県内就職率が上昇**(R4.3月卒業生74.1%、R2.3月⇒R4.3比で**5.6ポイント上昇**)  
**盛岡地区69.3%** (R2.3月比1.4ポイント上昇)、**県南地区76.3%**(R2.3月比5.7ポイント上昇)
- 官民連携事業等を背景に**住環境が充実**  
きたかみ就労支援共同住宅建設等促進プロジェクトにより、**新たに236戸の賃貸住宅が供給**されたほか、良好な宅地開発や快適な住環境の形成を目指した「花巻市民間宅地開発支援事業補助金」の創設等が進められる
- 産学官連携による専門人材の育成や高等教育機関における**高度人材育成**が進む  
県や北上市では、高等教育機関との連携による**半導体関連産業の人材育成を展開**しているほか、**一関工業高等専門学校**が「第3回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2022」において企業評価額10億円、投資額5億円との評価を受け、**最優秀賞受賞**

## 3 第4次産業革命技術の導入が進む

- 県内で**IoT・AIを活用した生産性向上に取り組む企業**や**工場のスマート化を目指す企業**が顕在化  
自社開発したシステムを活用し**工場の無人稼働の実現**、金型の自動段取りや遠隔操作により、**高稼働率のスマート工場の実現を目指す**県内企業など
- マイナンバーカードの導入促進等による**行政窓口のDX化**が進展  
一関市においては、令和3年11月に**スマートフォンを使用**し、転出届や各種証明書等の申請手続きなどを行うことができる**「スマート申請」**のサービスを県内で初めて導入